

2025年3月期 第2四半期（中間期）
決算説明資料

2024年11月7日

SANEI 株式会社

証券コード：6230

（東京証券取引所 スタンダード市場）

計画(業績予想)に対して、売上・利益ともに未達 前年同期比較では増収減益

売上高

13,581 百万円

営業利益

662 百万円

親会社株主に帰属する

中間純利益

469 百万円

計画比較

下回る

△368百万円(△2.6%)

- 住宅市場の落ち込みによる需要の低迷

下回る

△327百万円(△33.1%)

△210百万円(△31.0%)

- 急激な為替変動の影響により原材料・仕入価格が想定以上に高騰

前期比較

増収

+411百万円(+3.1%)

- 高付加価値製品の拡販
- 販売価格改定の浸透

減益

△80百万円(△10.8%)

△16百万円(△3.4%)

- 急激な為替変動の影響により原材料・仕入価格が想定以上に高騰
- 創業70周年記念に関連する費用により販売管理費が一時的に増加

SAN-EI

HAGUKUMU

風は来た 次なる景色への飛翔

1.
2025年3月期
第2四半期

連結業績予想と
実績の差異

2 連結業績予想と実績の差異

■ 売上高はウルトラファインバブル製品や洗面化粧台用混合栓を中心とした高機能・高付加価値製品の販売拡大、販売価格改定の浸透により堅調に推移したが、住宅市場の落ち込みによる需要低迷もあり、連結業績予想をやや下回った。

■ 利益面は急激な為替変動の影響により原材料・仕入価格が想定以上に高騰し、連結業績予想を大きく下回った。

連結業績予想

実績

(単位：百万円)

2Q累計

売上高
比率

2Q累計

売上高
比率

増減額

増減率

	2Q累計	売上高 比率	2Q累計	売上高 比率	増減額	増減率
売上高	13,950	100.0%	13,581	100.0%	△368	△2.6%
営業利益	990	7.1%	662	4.9%	△327	△33.1%
経常利益	990	7.1%	615	4.5%	△374	△37.9%
親会社株主に帰属する 中間純利益	680	4.9%	469	3.5%	△210	△31.0%

1株当たり中間純利益

148円54銭

102円55銭

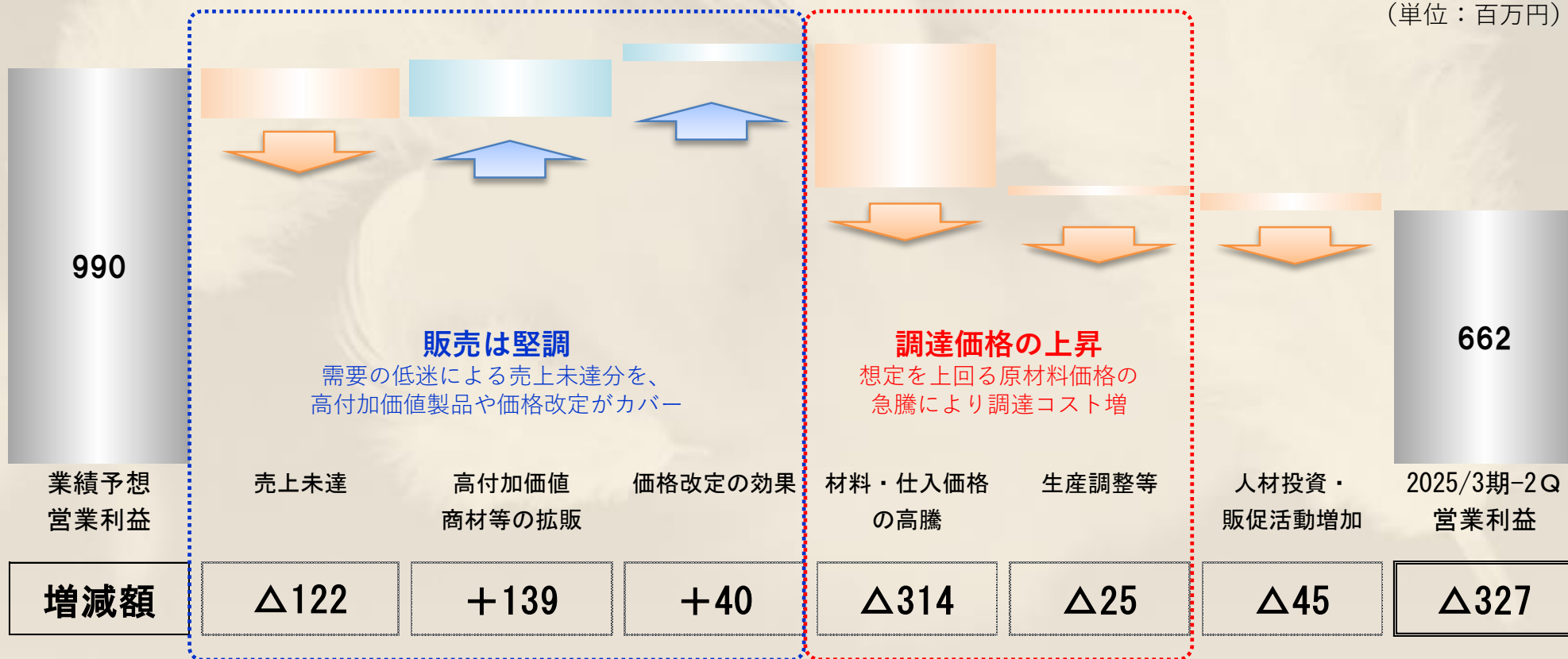
◆ 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり中間純利益を算定しております。

3 営業利益の増減要因（業績予想比較）

第2四半期業績予想増減 △327百万円の内訳

- 販売面では住宅市場の落ち込みによる需要低迷の影響があったが、高機能・高付加価値製品の販売拡大や販売価格改定の効果により売上未達分のマイナスをカバーした。
- 銅相場の急激な高騰により、想定を大きく上回る調達コスト増加の影響が大きかった。

(単位：百万円)



SAN-EI

HAGUKUMU

風は来た 次なる景色への飛翔

2.
2025年3月期
第2四半期

前期比較・当期
実績の詳細

4 損益の概要（前年同期比較）

- 高機能・高付加価値製品の販売拡大、販売価格改定の浸透が売上高・売上総利益の増加に貢献した。
- 販売管理費は第2四半期に創業70周年関連費用があり、一時的に増加した。
- 営業外費用は為替差損が増加した。

	2024年3月期		2025年3月期		(単位：百万円)	
	2Q累計	売上高 比率	2Q累計	売上高 比率	前年 増減	前年 増減率
売上高	13,170	100.0%	13,581	100.0%	+411	+3.1%
売上総利益	4,093	31.1%	4,291	31.6%	+198	+4.8%
営業利益	743	5.6%	662	4.9%	△80	△10.8%
経常利益	739	5.6%	615	4.5%	△124	△16.8%
親会社株主に帰属する 中間純利益	485	3.7%	469	3.5%	△16	△3.4%

1株当たり中間純利益 106円16銭

102円55銭

◆ 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり中間純利益を算定しております。

5 四半期業績の推移

- 売上高の計画進捗率は47.7%。前年同期47.8%からほぼ横ばいとなった。
- 利益面は、営業利益・純利益ともに計画進捗率は前年同期をやや下回った。

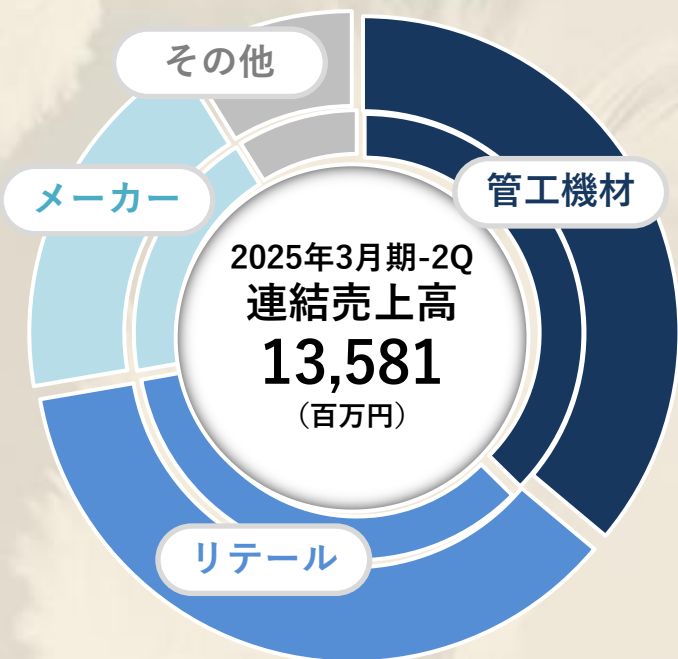
(単位：百万円)

前期 2024年3月期	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
売上高	6,811	6,358	7,194	7,167	27,532
年間売上構成比	24.7%	23.1%	26.1%	26.0%	100%
累計	6,811	13,170	20,364	27,532	
累計進捗率	24.7%	47.8%	74.0%	100.0%	
営業利益	296	446	730	501	1,975
年間営業利益構成比	15.0%	22.6%	37.0%	25.4%	100%
累計	296	743	1,473	1,975	
累計進捗率	15.0%	37.6%	74.6%	100.0%	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	209	276	485	377	1,348
年間純利益構成比	15.5%	20.5%	36.0%	28.0%	100%
累計	209	485	971	1,348	
累計進捗率	15.5%	36.0%	72.0%	100.0%	

当期 2025年3月期	1Q	2Q	3Q	4Q (業績予想)	年間 (業績予想)
売上高	6,786	6,795			28,500
年間売上構成比	23.8%	23.8%			100%
累計	6,786	13,581		28,500	
累計進捗率	23.8%	47.7%		100.0%	
営業利益	410	252			2,040
年間営業利益構成比	20.1%	12.4%			100%
累計	410	662		2,040	
累計進捗率	20.1%	32.5%		100.0%	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	299	169			1,400
年間純利益構成比	21.4%	12.1%			100%
累計	299	469		1,400	
累計進捗率	21.4%	33.5%		100.0%	



6 販売ルート別の概況



販売ルート別 売上構成
(外円：当期／内円：前期)

	前期 増減	
管工機材	→	ウルトラファインバブル関連の製品が好調であった一方、住宅市場の落ち込みによる需要低迷の影響があり、ほぼ横ばいとなった。
リテール	↗	ウルトラファインバブル関連をはじめとした高機能・高付加価値製品やインバウンド需要により好調だった。
メーカー	→	前期に引き続き住設メーカー向け標準採用品を中心として堅調な売上。新規の標準採用もありやや増加した。



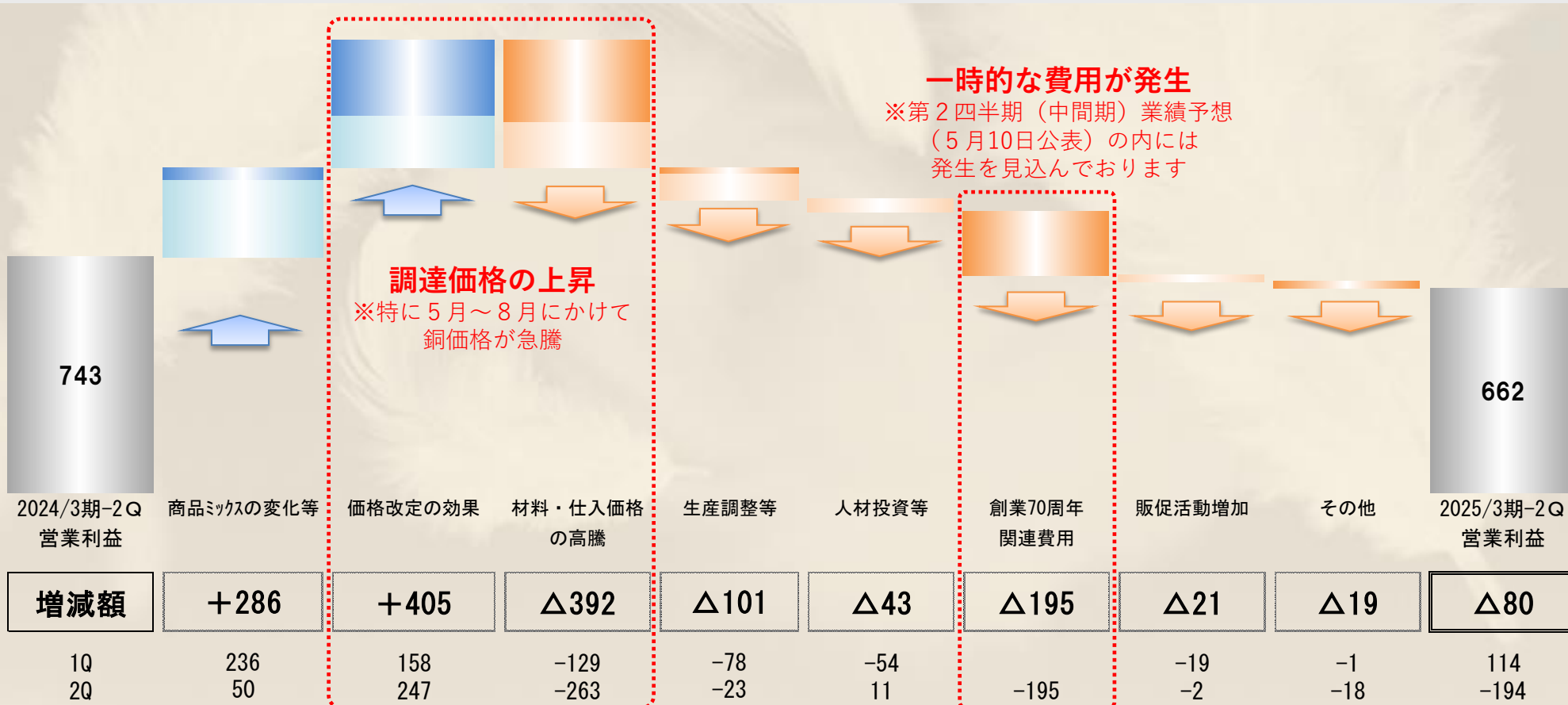
YORI
SUTTO

7 営業利益の増減要因（前年同期比較）

前期増減 △80百万円の内訳

(単位：百万円)

- 第1四半期では前期より+114百万円増益だったが、第2四半期のみの比較では△194百万円の減益となった。但し、第2四半期は創業70周年関連費用が一時的に発生。
- 銅相場の急激な高騰や仕入価格の上昇、需要の低迷等により調達・製造コストが増加した。



8 連結BS（資産・負債・純資産）

- 手形の譲渡による資金調達が増加したため、売上債権が減少。
- 岐阜工場の新工場棟が完成し、固定資産（建物及び構築物）が増加。
- 原材料・仕入価格が高騰したが、生産調整等により仕入債務が減少

		2024年 3月末	2024年 9月末	前期末 増減	(単位：百万円) 主な要因	
資 産	流動資産	15,858	14,330	△1,527	・現金預金 ・売上債権	△416 △1,086
	固定資産	8,359	8,877	+517	・建物及び構築物	+562
資 産	合 計	24,218	23,207	△1,010		
負 債	流動負債	7,514	6,279	△1,235	・仕入債務 ・未払法人税等	△700 △283
	固定負債	2,975	2,872	△102		
負 債	合 計	10,490	9,152	△1,338		
純 資 産	合 計	13,727	14,055	+327	・中間純利益 ・剰余金の配当	+469 △135
負 債 純 資 産	合 計	24,218	23,207	△1,010	(自己資本比率 58.3%)	



9 連結キャッシュフロー

(単位：百万円)



PrePashu⁺
予洗い水栓 “プレパシュ+”

	2024年 3月期2Q	2025年 3月期2Q	増減	主な要因
期首残高	2,247	1,497	△749	
営業 C F	917	621	△295	税金等調整前中間純利益 613 減価償却費 298 売上債権の減少 1,086 仕入債務の減少 △700 法人税等の支払額 △515
投資 C F	△572	△866	△293	有形固定資産の取得による支出 △808 主に岐阜工場の建替工事に関連する費用支払のため。
財務 C F	△171	△168	+3	借入金の純増減額 △32 配当金の支払額 △135
その他	6	△5	△11	
期末残高	2,426	1,079	△1,347	

SAN EI

HAGUKUMU

風は来た 次なる景色への飛翔

3. 企業価値向上へ の取り組み

10 企業価値向上への取り組み

売上高・収益性の向上（事業領域の拡大）

- 「水をデザインする」 SANEIブランドの更なる向上
～意匠、仕上げ精度、使用感、すべてにおいて最上級に相応しいものづくりへの挑戦～
- 水まわりにおける住空間をインсталレーション提案できる事業展開
～当社製品と他業種との協業・コラボレーション等によるラインナップの充実～
- 宿泊施設・飲食店・介護医療・公共施設など非住宅市場におけるシェア拡大

企業価値
向上

継続的な株主価値の向上

- 累進配当を宣言し、安定的な配当と長期・継続的な増配を目指す
～2025年3月期は9年連続増配の予定～

2024年9月末時点の業績・株価で計算

PBR

0.67倍

=

PER

(株価収益率)

6.4倍

×

ROE

(自己資本利益率)

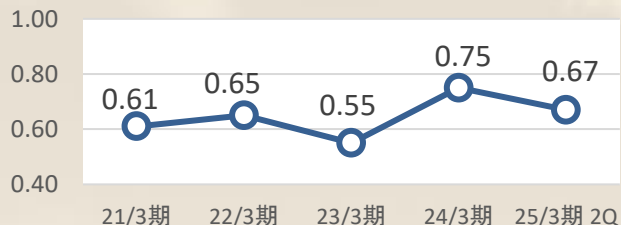
10.5%

2024年9月30日株価：1,962円

1株当たり当期純利益：305.81円

当期純利益：1,400百万円

自己資本：13,224百万円



11 株主還元（継続的な株主価値の向上）

- 累進配当の導入を決定しました※2024年6月25日公表
- 2024年10月1日付で株式分割（2分割）を実施しました
- 当期の配当予想を修正（増配）しました※2024年9月17日公表

当初の配当予想（普通配当：1株あたり27.5円）から2.5円増配して、1株あたり30円の期末配当を実施します。

累進配当の実績（株式分割後を基準に換算） ～9年連続の増配～

	年間配当金			配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)
	中間 円 銭	期末 円 銭	合計 円 銭		
2017年3月期	2.50	5.00	7.50		4.7%
2018年3月期	5.00	7.50	12.50		9.5%
2019年3月期	7.50	7.50	15.00		11.2%
2020年3月期	7.50	15.00	22.50	88百万円	14.0%
2021年3月期	15.00	22.50	37.50	161百万円	15.3%
2022年3月期	22.50	23.50	46.00	210百万円	21.1%
2023年3月期	24.00	24.00	48.00	219百万円	34.9%
2024年3月期	24.50	29.50	54.00	247百万円	18.3%
2025年3月期 (期末は予想)	30.00	30.00	60.00	274百万円	19.6%

- ◆ 過年度分の配当実績は全て、株式分割後を基準に換算しております。
- ◆ 2024年3月期 期末配当金の内訳は、普通配当 24円50銭・創業70周年記念配当 5円00銭となっております。
- ◆ 2025年3月期 中間配当金の内訳は、普通配当 27円50銭・創業70周年記念配当 2円50銭となっております。



12 企業価値の現状分析（各指標の推移）

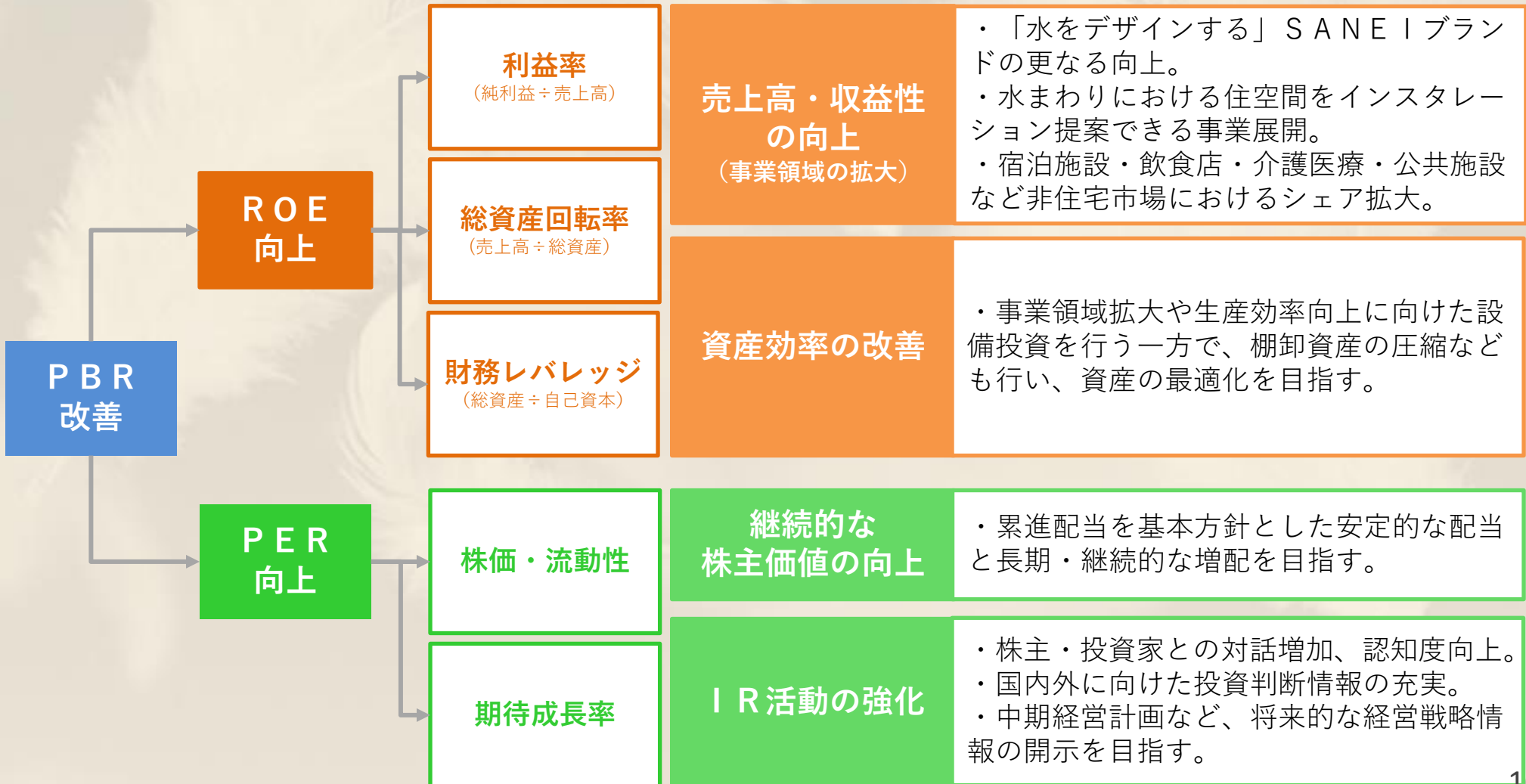
		21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	25/3期
P B R	倍	0.61	0.65	0.55	0.75	0.67
R O E	%	10.3	9.2	5.4	10.8	10.5
当期純利益率	%	4.5	4.3	2.4	4.9	4.9
総資産回転率	回	1.1	1.0	1.1	1.1	1.2
財務レバレッジ	倍	1.9	2.0	2.0	1.8	1.7
P E R	倍	5.9	7.1	10.1	6.9	6.4
期末株価（終値）	円	1,440	1,540	1,390	2,038	1,962
1株当たり純利益	円	244.97	218.31	137.70	294.57	305.81
売上高	百万円	22,182	22,999	26,564	27,532	28,500
親株当期純利益	百万円	1,000	999	630	1,348	1,400
純資産	百万円	10,500	11,952	12,495	13,727	14,055
総資産	百万円	19,459	22,467	23,455	24,218	23,207
1株当たり配当金	円	37.5	46.0	48.0	54.0	60.0
うち、中間配当	円	15.0	22.5	24.0	24.5	30.0
うち、期末配当	円	22.5	23.5	24.0	29.5	30.0

◆ 過年度分の期末株価及び1株当たり数値は全て、株式分割後を基準に換算しております。

◆ 25/3期の売上高・親株当期純利益及び期末配当は、予想値を用いております。

13 PBR改善に向けた取り組み

- 株式の流動性を高めながら、現状では割安となっているPERを向上させ、PBR 1倍以上の株価水準を目指す。
- ROEは現状の水準以上を維持しつつ、事業領域の拡大や収益性の向上を目指す。



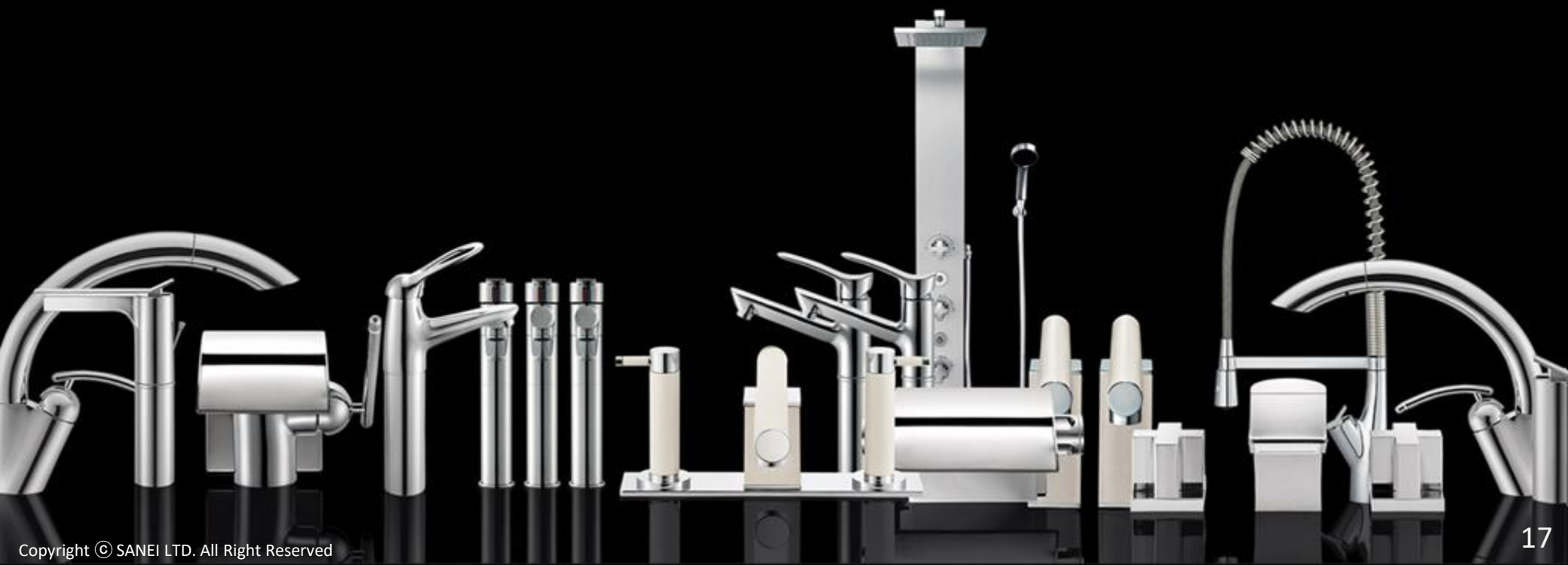
H₂O DESIGN

水をデザインする。

We design water.

SANEI

補足資料



社名	SANEI株式会社
事業内容	給水栓・給排水金具・継手および配管部材の製造・販売
創業	1954年（昭和29年）9月
代表者	代表取締役社長 西岡 利明
本社	大阪市東成区玉津1丁目12番29号
資本金	432百万円 ※2024年3月末時点
連結業績	売上高：27,532百万円 経常利益：1,973百万円 ※2024年3月期
従業員	連結： 866名 単体： 649名 ※2024年3月末時点
グループ会社	株式会社アクアエンジニアリング 大連三栄水栓有限公司 株式会社水生活製作所 美山鑄造株式会社

ALWAYS WITH JOY

きょう、あした、
人のそばに。喜びのそばに。

朝起きて、顔を洗う。

汗を流して、疲れを癒やす。

めざめて、活動をして、眠りにつくまで、

私たちの商品に触れるところから一日が始まり、

触れることでまた一日の終わりを迎える。

そんな日々が、きょうも、あしたも、続いていく。

私たちにとって、その人の一日に寄り添うことは

その人の人生そのものに寄り添うことでもあります。

ALWAYS WITH JOY.

いつもあなたの喜びのそばに。

そんな願いを込めて

SANEIはすべての商品をお届けしています。

「点」展開の時代

「水道/線」展開の時代

「水域/面」展開の時代へ

* 水栓単体の「点」の販売

* 水道メーター以降、蛇口までの水道インフラ全体をカバーするモノづくりを推進

* キッチンルーム+バスルーム+洗面ルームなどをすべてカバーする「面」対応のビジネスへ

1954
(創業)

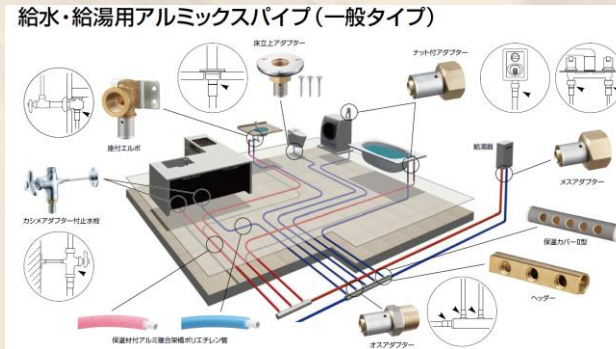
1980

2018~

▶ 「自社ブランドによる水栓金具メーカー」

▶ 「水栓メーカーとして確固たる地位の確立」

▶ 「水まわりにおける住空間をインсталレーション提案できるメーカー」



「toccata」が日本インダストリアルデザイナー協会の「JIDAデザインミュージアムセレクションVol.19」において2017年度の選定商品となる



シングルレバー湯水混合栓

1975



サーモスタット式湯水混合栓

1983



業界初の洗濯機用水栓

1989

雨水・中水活用システムが大阪府より「ゴールド・エコテック」の称号を授与される

2000

業界初の水道用コンセント「シンプレット」



2011

2018

サーモワンホール洗面混合栓 (タッチ式) 「toccata」

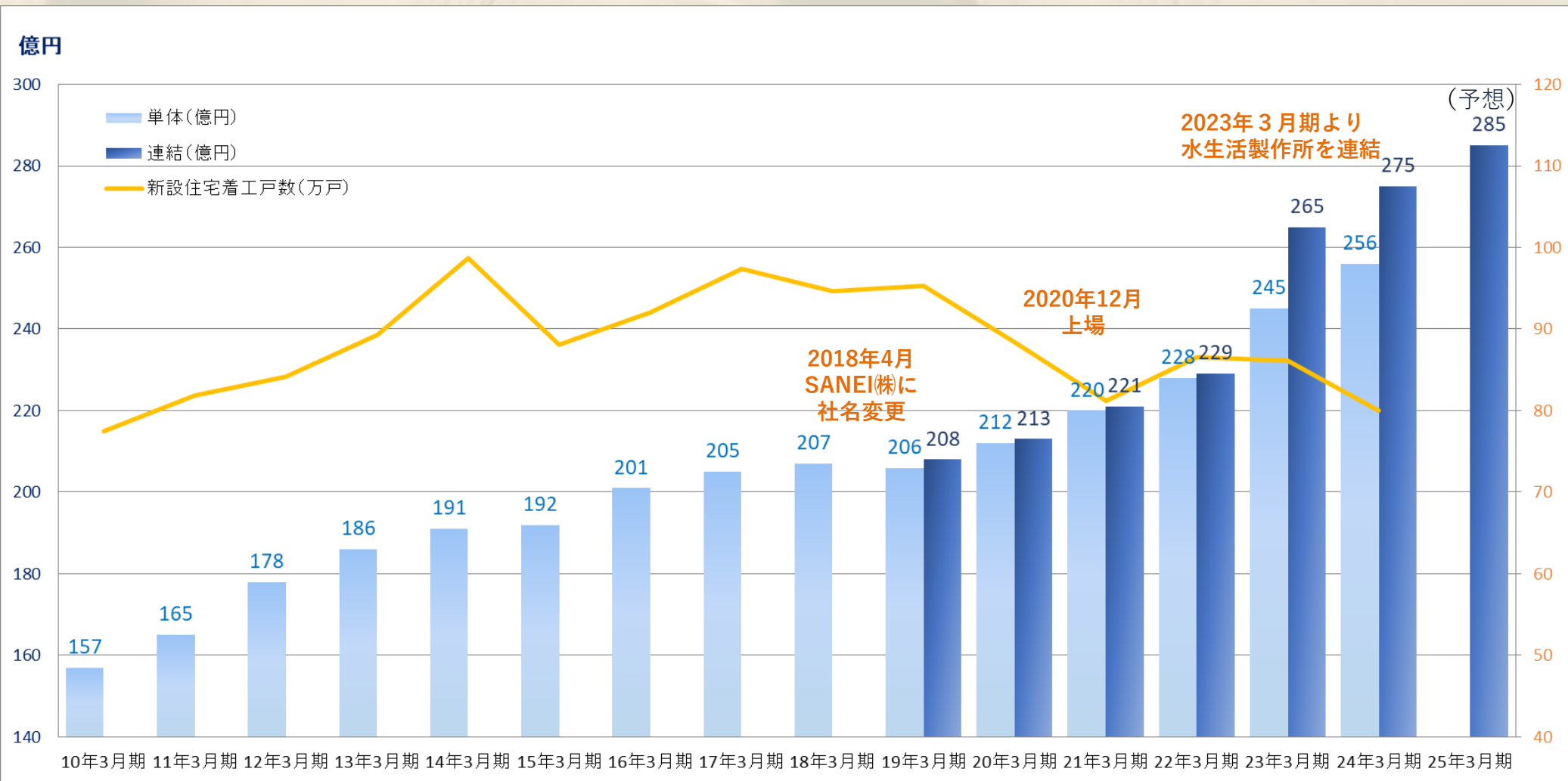


1954
創業

1967

日本初のシャワー付湯水混合水栓

■ 新設住宅着工戸数が減少傾向にある中、売上は単体・連結ともに継続的に成長



デザイン水栓シリーズ



給水栓・給排水金具

シングル混合栓（センサー式） サーモシャワー混合栓



シングルスプレー混合栓（センサー式）



単水栓・止水栓



シャワー用品

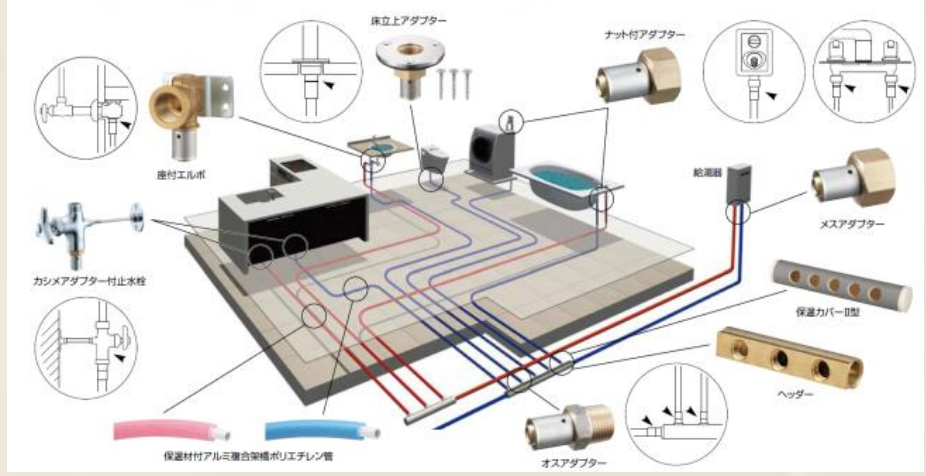


トイレ用品



継手および配管部材

給水・給湯用アルミックスパイプ（一般タイプ）



■ 予洗い水栓「PrePashu+」

プレパシュ+とは、タンブラーや哺乳瓶、コップ、グラスや瓶など、手の届きにくいものを予洗いするための水栓です。グラスウォッシャー、コップクリーナー、自動カップ洗浄機とも呼ばれています。日々の清潔をもっと簡単に、もっと効果的に。そして、毎日に余裕と笑顔。新しい予洗い体験をぜひお試しください。

PrePashu+ (プレパシュ+) 製品サイト
<https://www.sanei.ltd/library/prepashu+/>



■ Smart Fine Bubble

SANEIのウルトラファインバブルは、Smartな構造設計により、水まわりのあらゆるところに、汎用できます。水栓メーカーならではの汎用性です。

水まわりが変わると、生活が変わる、未来も変わる。

Smart Fine Bubble製品サイト
<https://sfb.sanei.ltd/index.html>



※「ファインバブル」、「ウルトラファインバブル」、「FINE BUBBLE」は、一般社団法人ファインバブル産業会の登録商標です。



SANEI DESIGN COLLECTION

SANEI

DESIGNER COLLABORATION

国内外で活躍するデザイナー達とのコラボレーションから生まれた、不朽のマスターピース。



Designed by
nendo



佐藤オオキを中心に設立されたデザインオフィス。東京とミラノに拠点をもち、建築、インテリア、プロダクト、グラフィックと幅広くデザインを手掛ける。

<https://www.nendo.jp>



Designed by
SUPPOSE DESIGN OFFICE



谷尻誠、吉田愛率いる建築設計事務所。幅広い分野のプロジェクトを手掛けるながら、「食堂」や広島本社の移転を機に商業施設の運営もスタートするなど事業の幅を広げている。

<https://suppose.jp>

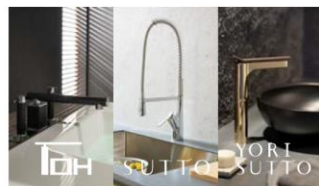


Designed by
喜多俊之
TOSHIYUKI KITA



デザイナー。プロダクト及び、空間など、分野を超え、数多くのデザインを手がける。作品の多くが MOMAを始め、世界のミュージアムに永久収蔵。

<https://www.toshiyukikita.com/jp>



Designed by
森田恭通
YASUMICHI MORITA



GLAMOROUS co., Ltd.代表。国内外へ活躍の場を広げ、インテリアに限らずグラフィックやプロダクトといった幅広い創作活動を行っている。

<http://glamorous.co.jp>



Designed by
鈴木エドワード
EDWARD SUZUKI
1947-2019



建築家。公共施設から個人邸、集合住宅まで幅広く手がけ、グッドデザイン賞、エコビルド賞など数々の賞を受賞している。

<https://edward.net>



Designed by
岩倉榮利
EIRI IWAKURA
1948-2019



家具ブランドROCKSTONEを創立。日本の伝統的な匠や現代の工業技術を暮らしの道具へと昇華。プロダクトデザイン、空間プロデュース、企業コンサルタント、人材教育までを手掛ける。

<https://rockstone.co.jp>

WAILEA DESIGN

人と水のよりよい関係を現代空間の中で追求する、SANEI インハウスデザインによるラインナップ。



Designed by
WAILEA DESIGN

無限に変化する水のデザイン。morfaは水栓を“なくす”という斬新な発想から生まれました。水栓や棚のデザインを統一し、パネルで構成されたボックスの中に一体化しました。



Designed by
WAILEA DESIGN

五感を満たす心地よさ。ヨーロッパ調のシンプルで洗練されたデザインで、時間がゆっくりと流れるような、落ち着いた空間を演出します。



Designed by
WAILEA DESIGN

見ているだけで微笑んでしまう、思わず触れてみたくなるキュートなフォルム。常夏の自然に育まれた果実をモチーフにしたなんともユニモラスな表情が印象的です。



Designed by
WAILEA DESIGN

和と、輪と、環。一輪挿しのように凛とした行まい。本物の竹を重ね合わせ、磨きこんで形にする。水の出口に曲げた銅板を使い、水の流れを目と耳で楽しむ。「いちりん」は和の伝統を受け継ぎながら唯一無二の存在。



Designed by
WAILEA DESIGN

操作は軽くタッチするだけ。イタリア語のtoccare「ふれる」という語源そのままに、吐水、水量や湯・水の切り替えはタッチパネルに「ふれる」だけ。そのスマートな操作性と近未来的なデザインが、洗練された空間を創り出します。



Designed by
WAILEA DESIGN

KOKOEは手荷物を腕にかけたままでも使いやすいよう、六角形で構成されたカウンターセットです。ボウルとカウンターは抗菌仕様の人造大理石を採用しており、シームレスですっきりした印象に仕上げられています。

水まわり資材を扱う管材店向けの「管工機材」から、住宅設備「メーカー」、ホームセンターなどの「リテール」までバランスよく展開

	主な販売先	事業展開の方針
管工機材ルート	水まわり資材を取り扱う管材店	<ul style="list-style-type: none"> (1) ホテル、飲食店、病院、介護老人保健施設等の非住宅関連へのスペックイン (2) 住宅内の水まわり設備のトータル提案 (3) パワービルダー、ハウスメーカー、工務店等住宅関連へのアプローチ
リテールルート	量販店 ネット販売業者	<ul style="list-style-type: none"> (1) ホームセンター向け水まわり商材の企画、開発と販売体制の強化 (2) 家電量販店、総合スーパーなどへ水まわり商材や雑貨、リフォーム商材などの提案 (3) テレビ通販、インターネット販売業者への販路拡大
メーカールート	住設機器メーカー	<ul style="list-style-type: none"> (1) 優位性のある中高級グレードの商品投入 (2) バス、洗面、キッチンなど、住宅設備機器メーカーとの協業による水まわり空間の提案
海外ルート	海外市場	<ul style="list-style-type: none"> (1) 中国、台湾、インドネシア等のアジア諸国向けに中高級グレードの商品投入 (2) 海外各国の現地代理店との提携強化、新規開拓による販売

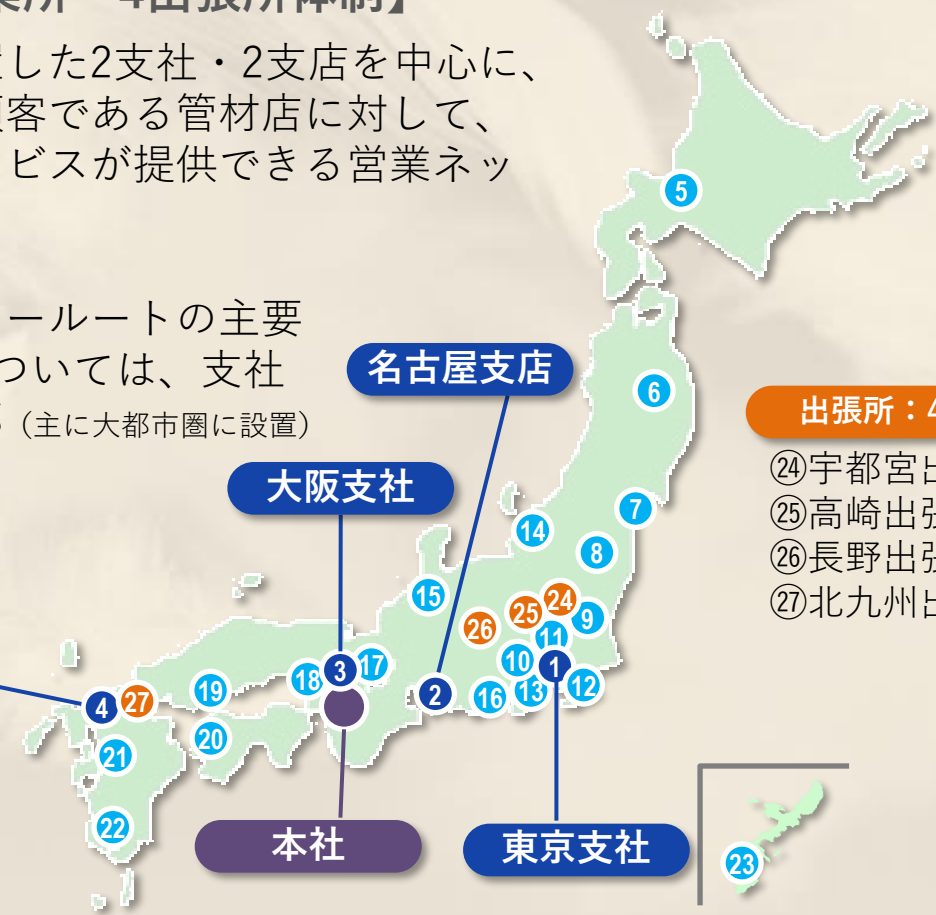
2支社・2支店を中心に19営業所・4出張所で、全国を網羅するネットワークを構築

【2支社・2支店・19営業所・4出張所体制】

- 三大都市圏と福岡に設置した2支社・2支店を中心に、管工機材ルート的主要顧客である管材店に対して、全国隈なく網羅的にサービスが提供できる営業ネットワークを構築
- リテールルートとメーカールート的主要顧客（=事業規模が大きい）については、支社支店が中心となって本部（主に大都市圏に設置）にて対応

連結子会社

- (株)アクアエンジニアリング
- 大連三栄水栓有限公司（中国）
- (株)水生活製作所
- 美山鑄造(株)



営業所：19拠点

- ⑤札幌営業所
- ⑥盛岡営業所
- ⑦仙台営業所
- ⑧郡山営業所
- ⑨つくば営業所
- ⑩東京西営業所
- ⑪さいたま営業所
- ⑫千葉営業所
- ⑬横浜営業所
- ⑭新潟営業所
- ⑮金沢営業所
- ⑯静岡営業所
- ⑰京都営業所
- ⑱神戸営業所
- ⑲広島営業所
- ⑳松山営業所
- ㉑熊本営業所
- ㉒鹿児島営業所
- ㉓沖縄営業所

出張所：4拠点

- ㉔宇都宮出張所
- ㉕高崎出張所
- ㉖長野出張所
- ㉗北九州出張所

ショールーム ● 実物を見て、触れて、使い勝手をお確かめいただくための拠点
の位置づけ ● 「SANEI」ブランドの高い品質やブランド価値を伝えていく拠点



大阪ショールーム
SANEI大阪支社 内



東京ショールーム
SANEI東京支社 内



福岡ショールーム
SANEI福岡支店 内



御堂筋ショールーム (WAILEA)



2023年5月オープン



名古屋ショールーム

SANEI名古屋支店 内



青山ショールーム (FLUSSO)

<https://www.flusso.design/>



表参道ショールーム (WAILEA)

<https://www.wailea-club.com/>

SANEIは、1954年の創業以来

「人類ある限り水は必要である」を理念とし、

地球に生きる一員としての自覚を持ち、

企業活動に取り組んできました。

安全で快適な暮らしを提案

持続可能な社会において、水は生活の基本であり、QOL (Quality of Life)の要ともいえます。健康・安心を求める人々のニーズに応え、すべての人が容易にアクセスでき、快適な暮らしを享受できる製品の提案に取り組んでいます。



非接触で清潔
音声操作で清潔・快適
部屋に菌を持ち込まない

地球や環境に優しいモノづくり

モノづくりに伴う環境負荷を最小化すること。そして生活の中での水利用における環境配慮。さらには洪水や地震など災害時におけるレジリエントなシステムの提案。自然と生活に関わる企業としてその使命を果たします。



環境配慮型バルブ認定
天然素材を利用した水性

働くよろこびとお客様や地域とのつながり

人とのつながりは企業のかけがえない資産です。誰もが働きやすい環境と活躍できる機会を確保するとともに、お客様や地域とのパートナーシップを強化して社会に信頼される企業を目指しています。



若手建築家への支援協賛
地域清掃活動

DISCOVER
in Water

人もまた、循環の一部である

人類が豊かさを追い求めてきた結果、自然は破壊され、地球が悲鳴を上げている…環境問題が深刻さを増してきた20世紀の終わり頃からそうしたベジミスティックな世界観が世の中を覆いました。けれど人の文明は、暮らしとは、本当に地球にとって害悪でしかないのでしょうか。数々の“不都合な真実”を見る限り、人の活動が自然環境にネガティブな影響を与えている側面はもちろん否定できないでしょう。しかし人類を「自然と競合する存在」とみなすこと自体、見方によっては人間の傲慢とはいええないでしょうか。悲鳴を上げているのは地球というより、人間ではなかったでしょうか。

思えば人の営みもまた自然の摂理の中にあり、私たちの社会も含めて地球上の大きな循環=みずみちの一部を為しています。そしてかつての水田や里山がそうであるように、人が手を加えた自然は長い歳月をかけて環境を豊かにし、生物の多様性を育むことさえてきました。相互の調和—その関係性に逆らうことなく、地球と一体となって生きること。それが、これから目指していくべき持続可能な社会への一つの答えなのかもしれません。



水の循環にかかわる存在として、

いつまでも人々の生活の憩いと潤いが続くように。

Think Life. Make Act.

美しいこの惑星（ほし）の未来のために、

今日私たちにできることを。

私たちの挑戦は始まっています。

A L W A Y S W I T H J O Y

S A N E I

本資料に関するお問合せやIRミーティングのご依頼

- ▽ 当社ホームページ <https://www.sanei.ltd/>
- ▽ メール ir-sanei@sanei.ltd
- ▽ お電話 06-6972-5955

担当：SANEI株式会社IR課

SANEI株式会社
<https://www.sanei.ltd/>

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。